

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、平成28年度以降も全額国費での支援を継続するよう要望するもの。

可決

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成28年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすよう求めるもの。

可決

みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情6件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 伊達支部 支部長 酒井 克幸	採択 (全員賛成)
「集団的自衛権」行使を具体化する「安全保障法案」に反対する意見書提出を求める陳情書	全日本年金者組合 福島県本部 伊達支部 支部長 菅野 顕光	不採択 (採択に賛成1、 採択に反対10)
「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案の廃案を求める意見書についての陳情	新日本婦人の会 伊達支部 代表 堀江 ミヨ子	
「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案のすみやかな廃案を求める意見書についての陳情	憲法九条を守るだて女性の会 代表 若狭 百合子	
安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書に関する陳情	原水爆禁止福島県協議会 代表理事 二階堂 次男	
採択に賛成 浅野 富男議員	採択に反対 八島 博正議員	
法案の内容は違憲であるとの見解もあり、町民の安心安全を守る地方公共団体の公益に関する事件として採択するべき。	国会で審議中の案件であり、国会での十分な審議を待たずに町議会で検討することは馴染まないため、不採択とするべき。	
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	自治労国見町職員労働組合 執行委員長 中條 伸喜	採択 (全員賛成)

※議長は採決に参加しない。

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	児童数減少によるスクールバス運行の問題を解決せよ	10
井砂 善榮	東北本線の増発や運行時間調整を望む声への対応は	11
	光明寺地区のほ場整備はもう行わないのか	
阿部 泰藏	歴史を活かしたまちづくりを継承していくための取り組みは	12
松浦 常雄	道の駅の目玉となるような物品販売は	13
村上 正勝	県北流域下水道施設の汚泥流出可能性への対策は	14
	町の人口減少への対策は	
	観光促進への取り組みは	
渡辺 勝弘	生活環境の変化に対応できる保育を	15
	法改正で介護待機者が増えるのでは	
浅野 富男	一貫校教育を進めることでの影響は	16
	公共施設の除去土壌の処理方法は	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ